



西部っ子

学校だより

令和2年3月24日

高岡市立戸出西部小学校

校長 原野 克憲

希望の巣立ち

3月17日に開催した卒業証書授与式では、内容を限ったの式となりました。そのような中、子供たちはとても立派な姿で式に臨んでいました。一人一人が、礼儀正しくしっかりと卒業証書を受け取る姿、心を込めて呼びかけをする姿は、とても感動的でした。共に過ごした在校生や戸出西部小学校、お世話になった保護者の方や地域の方に感謝の言葉と今後の誓いを述べながら巣立っていく姿が、目に焼き付いています。卒業生のみなさんに幸多かれと祈るばかりです。



在校生の皆さんは、この立派な姿を直接見ることはできませんでしたが、卒業生の願いである「三つの輪」のバトンをしっかりと受け継ぎ、融和、誠実、実行を大切にする西部っ子に育ってほしいと思います。卒業生の皆さん本当にありがとうございました。そして、戸出西部小学校を支えていただいた保護者の皆様に、重ねて感謝を申し上げます。

次年度に向けて

3学期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休業となり、学校での授業が少なくなりました。その間、学習や生活面等においてご家庭で子供たちをよく見ていただきましたことに感謝申し上げます。6年生の登校した2日間、1年生から5年生の登校した4日間では、子供たちが元気な姿で学習していることを大変嬉しく思いました。

6年生は教科等の学習内容をほぼ終えて中学校に進学します。未履修及び復習等に必要な内容については中学校に伝え、それを踏まえて学習指導することになっております。卒業生には、小学校で培った力を生かして、さらに大きく羽ばたいてほしいと思います。また、5年生以下の子供たちとは、この登校日4日間で、未履修の学習内容をできるだけ進めました。残されている学習内容については、新年度に入り引き続き学習を行います。ドリルや単元テスト等の復習もその都度行い、力が付くようにしていきます。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、西部っ子は、1年間を通して行った縦割り活動、その他の学習を通して関わり合い、仲よく高め合ってきました。共に学んだ仲間感謝し、互いにお礼を言い合い進級してほしいと思います。「一寸の光陰軽んずべからず」ということわざがあります。時間を無駄に使うことなく、目当てをち、友達と仲よくして学習してほしいと願います。

早いもので年度末となりました。子供たちの成長を願い、学校は保護者の皆様、地域の皆様と共に歩ませていただきました。実りがとても多い1年間であったことに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。